

Mozilla Japan 翻訳部門

－ 過去・現在・未来 －

Mozilla Japan 翻訳部門
和訳アドバイザー

池田 譲治

Firefox Developers Conference 2006 at Tokyo

Mozilla Japan 翻訳部門とは？

- 主として mozilla.org の文書を日本語化する事を目的とした、Mozilla Japan の一部門。
- 前身は、もじら組 和訳プロジェクト。
- メインスタッフを含め、ボランティアの参加者で成り立っている。

翻訳部門の歴史 (1)

- 2000年1月 mozilla.org 和訳プロジェクト発足。Mozilla M13 リリース。
- 2000年7月 mozilla.gr.jp 稼動開始。和訳プロジェクトの Web サイトが mozilla.gr.jp へ移行。
- 2000年12月 もじら組発足。
- 2002年6月 Mozilla 1.0 リリース。
- 2002年9月 Phoenix 0.1 リリース。

翻訳部門の歴史 (2)

- 2003年7月 Mozilla 1.4 リリース。
- 2003年8月 和訳プロジェクトフォーラム(現在の翻訳部門フォーラム)正式稼働。
- 2004年8月 Mozilla Japan 設立と同時に合流。
- 2004年10月 「mozilla.org 日本語版」を MJ のサイトと統合。テンプレート・システムの導入。
- 2004年11月 Firefox 1.0 リリース。

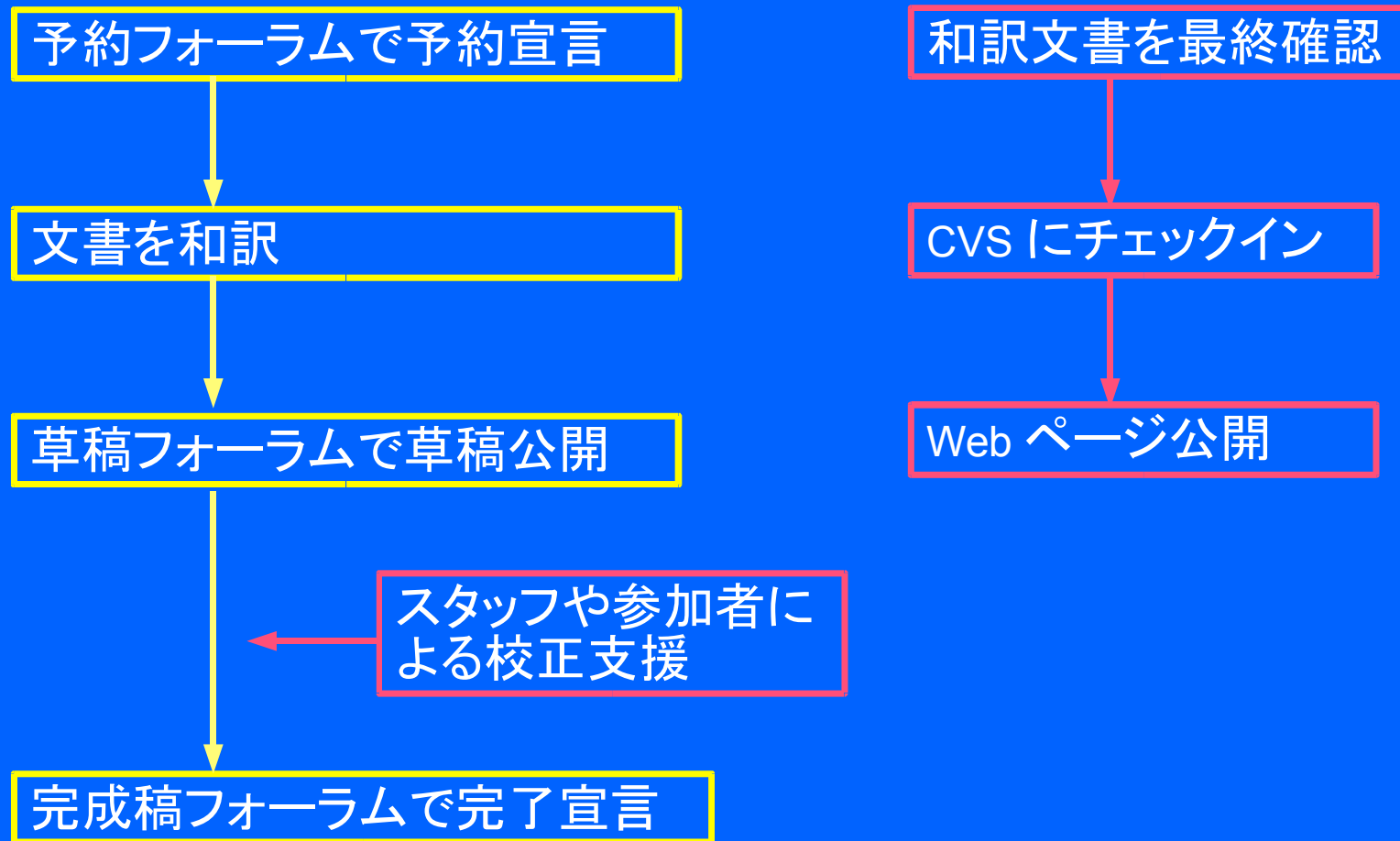
MJ に参加した理由

1. 公式アフィリエイトに参加する事によって 商標ポリシー(草稿 ver 0.2) の「レベル1」をクリアする。
2. テンプレートシステムを使用することで、mozilla.org 側の文書スタイル変更に対応しやすくなる。
3. 和訳作業参加者の作業プロセスは変わらず、参加者に余計な負担がかからない。
4. 和訳文書に MJ 側の QA が入る事によって和訳の品質が向上する。

現状

- 既訳文書数 : 1,300ページ以上
- 参加者数 : 通算 100人以上
(最年少は中学二年生)
- 活動拠点 : 翻訳部門フォーラム
<http://forums.firehacks.org/trans/>
- 文書管理 : CVS + テンプレート・システム

文書公開までの流れ



ロードマップ

プロジェクト

コーディング

モジュールオーナー

ハック

ソースの入手

ビルド

テスト

リリース

ナイトリービルド

問題の報告

ツール

Bugzilla

Tinderbox

Bonsai

LXR

FAQ

MDC 日本語版

Firefox 2 ロードマップ

[Ben Goodger](#) (2006/01/17)

はじめに

Firefox 1 は、Gecko そして最終的には XULRunner にとって、最も重要な配布手段のひとつです。私たちの目標は、Windows、Linux、そして Mac OS X における最高のブラウザ製品を提供し続けることです。私たちは、現在から次のメジャーリリースまでの間の作業について野心的な目標を立てています。このドキュメントでは、Firefox 2 へどのようにたどり着こうと考えているのか、現時点での計画を解説します。

今後の計画に関する情報

今後の計画立案とそれに関する議論はすべて Mozilla Wiki 上で行われています。詳しくは [Firefox 2 Product Planning](#) をご覧ください。

ブランチ計画

Firefox 2 は Firefox 1.5 のために作られた Gecko 1.8 ブランチ (branch) の継続的な開発をベースとします。これは、Web 開発者の視点から Firefox 1.5 と 2 が互換性を保つようにするためです。新しい API が追加される可能性はありますが、既存の API が削除されることはありません。Firefox 2 リリースの内容は主にユーザに焦点を当てたものとなります。また、仕上げまで 12 か月の期間を必要とする Gecko の大幅な変更がトランク (trunk) 上で進められていることから、1.8 ブランチ上で行われます。開発者は、自分たちの作業がそのいずれの条件も満たしつつ、鳥小屋ブランチ (aviary-branch) のような不整合が起きないように、注意を払わなくてはなりません。

ブランチの管理

Firefox 2 の開発に利用されるブランチは、だれもがリリースの目標に集中して、Gecko の互換性と安定性を保つようにするため、変更点を最小限に抑えます。Gecko に関する変更はすべて、製品サイクルのステージに関わらずドライバーによる承認が必要となります。アプリケーションに関する大幅な作業についても製品グループの承認が必要です。たいていの UI の変更は、コードの量は少なくても、影響という意味では重大なものであるということを意識してください。

XUL Planet 和訳プロジェクト

- 2002年11月 和訳プロジェクトのサブプロジェクトとして XUL Tutorial 和訳開始。
- 2004年7月 kmine さんたちを中心に作業再開。
- 2005年7月 草稿完了。<http://www.xulplanet.jp/xultu/>で草稿公開。本家の developer.mozilla.org へのミラーリング開始。
- 2006年11月 MDC の和訳作業完了（森小路さん）。
http://developer.mozilla.org/ja/docs/XUL_Tutorial

Intermission



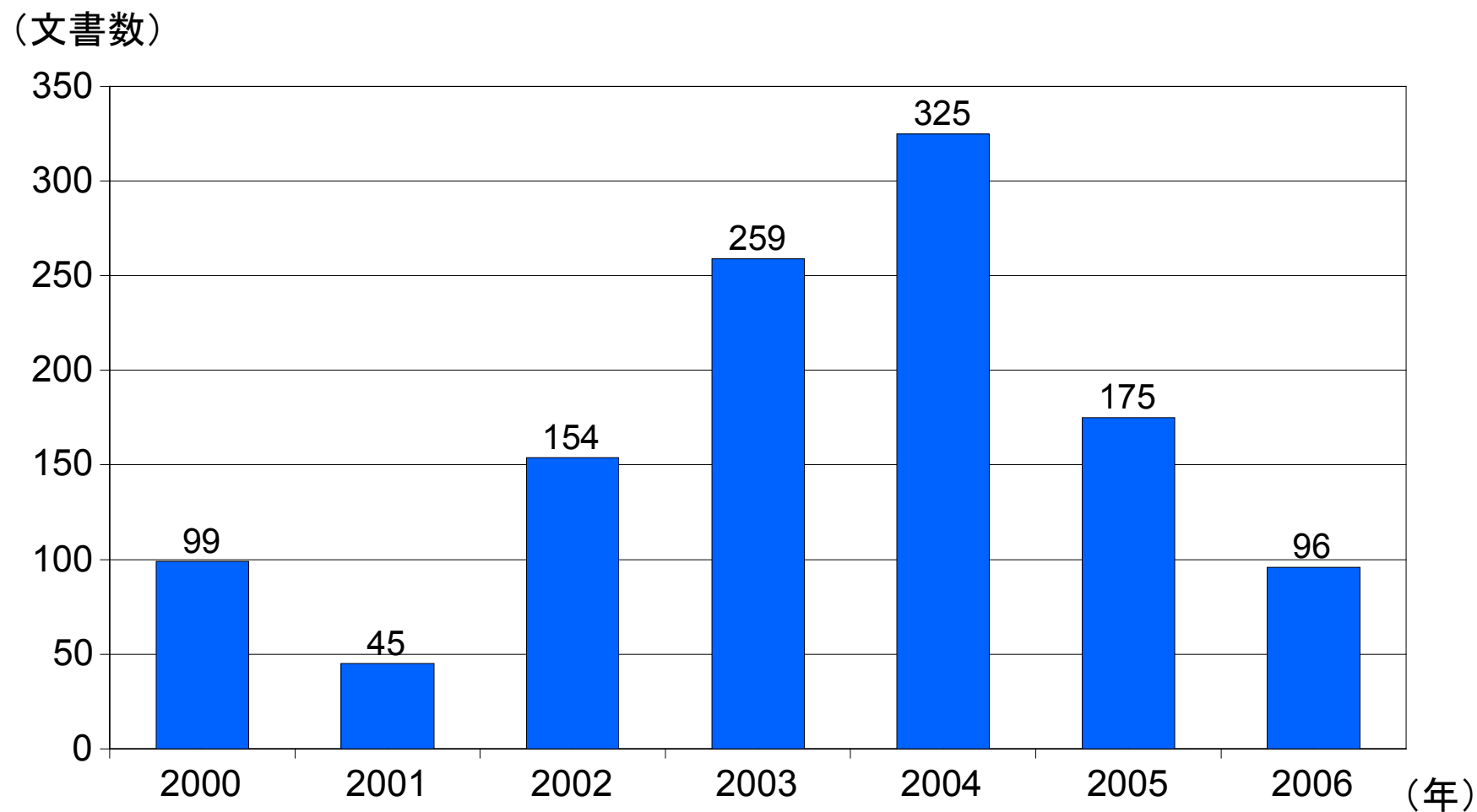
© Ching Chiao

現状の問題点

1. 参加者数の減少

- i) 情報ソースの多様化
- ii) .org コンテンツと .com コンテンツ
- iii) blog と wiki へのシフト

年度別和訳文書数



情報ソースの多様化

- Firefox 本の刊行ラッシュ
 - 白本、黒本などの乗り換え・活用ガイドブック
 - Firefox Hacks、256のテクニック、etc.
- Firefox まとめサイト、拡張あれこれ、などの個人サイトやブログ
- 窓の杜、IT 関連ネットニュースなどの商業サイト

.org コンテンツと .com コンテンツ

- 2005年8月 Mozilla Corporation 設立。
- これ以後、Firefox と Thunderbird 関係の文書は <http://www.mozilla.com/> で公開される。
- .com コンテンツは MJ スタッフ(吉野)による和訳。
- mozilla.org で公開されている主なプロジェクト。
SeaMonkey、Minimo、Calendar Project
(Bugzilla と Camino は独自サイト)

blog と wiki へのシフト

- 最新情報の公表場所が blog と wiki にシフト
- blog 例
 - mitchell's blog
 - Brendan's Roadmap Updates
- wiki 例
 - Mozilla wiki
 - Mozilla Developer Center (MDC)

現状の問題点

1. 参加者数の減少

- i) 情報ソースの多様化
- ii) .org コンテンツと .com コンテンツ
- iii) blog と wiki へのシフト

2. 文書のライセンス

3. 草稿のままの文書の処理

文書のライセンス

- mozilla.org 文書の多くは Creative Commons でライセンスされている。
- 現在の mozilla.org 日本語版には明確なライセンスが存在しない。
- Creative Commons を適用する方向が望ましい？
- 翻訳部門フォーラムでご意見募集中。

草稿文書の処理

- 草稿のままでとどまっている文書数：30強
- 各和訳者に個別に連絡を取り、和訳作業継続の意思確認を取る必要がある。
- 作業継続困難や連絡不能な場合、希望者またはスタッフが完成作業を行なう。
- 特に技術系文書の場合が難しい。

今後の課題

- 他のプロジェクトとの協調
 - MDC : XUL 要素リファレンスなどの移行
 - 訳語決定会 : 定訳集の作成
- 翻訳作業の効率化
 - OmegaT など翻訳メモリの活用
- 既訳文書のメンテと草稿文書の完成稿化
- blog エントリ和訳の組織化・集約化？

ご静聴

ありがとうございます

第2部の個別セッションでお会いしましょう

